

第五次国有林野施業実施計画書

(留萌森林計画区)

計画期間 (自 平成29年4月 1日
至 平成34年3月31日)

策定年月日：平成29年3月27日

北海道森林管理局

目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	
	(1) 伐採造林計画簿	1
	(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等	1
	(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積	2
	(4) 伐採総量	2
	(5) 更新総量	4
	(6) 保育総量	4
3	林道の整備に関する事項	5
4	治山に関する事項	7
5	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	
	(1) 保護林の名称及び区域	8
	(2) 緑の回廊の名称及び区域	8
6	レクリエーションの森の名称及び区域	9
7	公益的機能維持増進協定の名称及び区域	9
8	その他必要な事項	
	(1) 施業指標林、試験地等	10
	(2) フィールドの提供	11
	(3) 森林共同施業団地	11

別表 保護林・レクリエーションの森等箇所別一覧表

保護林

レクリエーションの森

レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプ

附属資料

- (1) 林種別、伐採方法別、主伐・間伐別の伐採面積及び伐採量
- (2) 林種別、更新方法の区分別及び樹種別の更新面積
- (3) 更新量の割振り

その他附属資料

- (1) 国有林野の現況
 - ① 担当区別の区域及び面積
 - ② 保安林、自然公園等の面積
 - ③ 林況（林種別齢級別面積、材積及び成長量）
- (2) 機能類型別の国有林野の現況
- (3) 林道等の現況
- (4) 収穫予想表
- (5) 地元施設等の現況

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域
国有林野施業実施計画図（別添1）による。

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、伐採造林計画簿（別添2）による。

(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等

(単位：ha)

区分	面積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年	
			樹種	
単層林施業群	1,004	人為を積極的に加えることにより、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	65年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	80年
			カラマツ ・グイマツ	50年
			スギ	65年
			その他針葉樹	60年
長期単層林施業群	-	人為を積極的に加えることにより、伐期の長期化を図り、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	100年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	120年
			カラマツ ・グイマツ	80年
			スギ	100年
			その他針葉樹	90年
複層林施業群	1,884	人為を積極的に加えることにより、複数の樹冠層を有する森林を造成し、将来にわたり非皆伐状態を維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】	トドマツ	伐採始期 60年 伐採終期 100年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	伐採始期 70年 伐採終期 120年
			カラマツ ・グイマツ	伐採始期 40年 伐採終期 80年
			スギ	伐採始期 50年 伐採終期 80年
			その他針葉樹	伐採始期 50年 伐採終期 90年
混交林施業群	19,875	必要により人為を加えることにより、広葉樹等の導入・育成を図り、針広混交林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】	30年	
育成天然林施業群	57,383	必要により人為を加えることにより、多様な樹種による複数の樹冠層を有する森林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】		
天然生林施業群	13,832	天然力を活用することにより、森林を造成・維持する。 【施業方法：天然生林へ導くための施業】		
その他施業群	-	他の施業群の取扱いになじまないもの。取扱い内容は個別に定める。		
合計	93,977			

注) 林地面積の集計である。

計は四捨五入の為、必ずしも一致しない。(以下の表についても同じ)

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：ha)

施業群	単層林	長期単層林	複層林	混交林	育成天然林	天然生林	その他
上限伐採面積	76	-	321	3,311	9,564	2,305	-

(4) 伐採総量

(単位：m³、ha)

区 分	林 地					林 地 以 外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
山地災害防止タイプ	7,682	(2,052) 67,559	75,241				
自然維持タイプ	-	-	-				
森林空間利用タイプ	11	(83) 2,410	2,421				
快適環境形成タイプ	-	-	-				
水源涵養タイプ	単層林	8,724	8,724				
	長期単層林	-	-	-			
	複層林	17,257	(217) 7,683	24,940			
	混交林	2,169	(3,786) 120,195	122,364			
	育成天然林	352	(43) 838	1,190			
	天然生林	-	-	-			
	その他	-	-	-			
	計	28,502	(4,046) 128,716	157,218			
合 計	36,195	(6,181) 198,685	234,880	55,500	290,380	-	290,380
年 平 均	7,239	(1,236) 39,737	46,976	11,100	58,076	-	58,076

注) 上段 () は、間伐面積である。

(再掲) 市町村別内訳

(単位: m²、ha)

市町村名	林 地				林 地 以 外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量		
留 萌 市	9,938	(1,630) 36,636	46,574			
増 毛 町	844	(62) 1,593	2,437			
小 平 町	13,781	(936) 32,204	45,985			
苫 前 町	2,173	(1,287) 32,026	34,199			
羽 幌 町	2,562	(443) 19,058	21,620			
初 山 別 村	350	(324) 12,088	12,438			
遠 別 町	-	(787) 34,544	34,544			
天 塩 町	6,547	(713) 30,536	37,083			
合 計	36,195	(6,181) 198,685	234,880			

注1) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まれていない。

注2) 上段()の数値は間伐面積(ha)を表す。

(5) 更新総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
人工造林	単層林造成	-	-	-	-	20	20
	複層林造成	62	-	-	-	175	237
	計	62	-	-	-	195	257
天然更新	天然下種第1類	-	-	-	-	13	13
	天然下種第2類	25	-	0	-	47	72
	ぼう芽更新	-	-	-	-	-	-
	計	25	-	0	-	60	86
合 計		87	-	0	-	255	342

(6) 保育総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
保 育	下 刈	1,695	478			8,487	10,660
	つる切り	611				1,195	1,806
	除 伐	866				1,695	2,561

3 林道の整備に関する事項

基幹・その他別	開設・改良	路線名	箇所(林班)	延長(m)	箇所数(改良)	備考
留萌北部森林管理署						
その他	開設	新井沢	2016, 2017	1,300		羽幌町
		上羽幌	2129	1,000		〃
		知来別	1020, 1021	3,400		遠別町
		サラキト	3, 4	2,000		天塩町
		壬生	5	1,200		〃
		中ノ沢	34	1,300		〃
		二本松	56, 57	1,300		〃
	計	7 路線		11,500		
その他	改良	2 2 線沢	2021	40	1	羽幌町、溝渠工
		歌越別	2289	35	1	初山別村、溝渠工
		大成第二	1115	25	1	遠別町、擁壁工
		清川左股	1168	25	1	遠別町、擁壁工
		泉源30号	44	30	1	天塩町、溝渠工
	計	5 路線		155	5	
留萌北部森林管理署計						
開設	基幹	- 路線		-		
	その他	7 路線		11,500		
	計	7 路線		11,500		
改良	基幹	- 路線		-	-	
	その他	5 路線		155	5	
	計	5 路線		155	5	
留萌南部森林管理署						
その他	開設	桜庭2号	82	1,000		留萌市
		ボンルル2号左支線	141, 142	1,500		〃
		中幌糠1号	169, 171	1,400		〃
		一線沢支線	1189, 1191, 1192	1,540		小平町
		朗音内	2192, 2193	1,150		苫前町
	計	5 路線		6,590		
基幹	改良	豊真布	172, 173	87	3	留萌市、溝渠工、擁壁工
		右股	1041, 1042	40	2	小平町、溝渠工
		中記念別	1079~1081	140	5	小平町、溝渠工、擁壁工
		小川	2183, 2186~2195	140	6	苫前町、溝渠工
	計	4 路線		407	16	
その他	改良	桜庭	80, 83	18	1	留萌市、溝渠工
		峠沢	112~114	20	1	留萌市、溝渠工
		中幌糠	168, 169	40	2	留萌市、溝渠工
		住吉	1021, 1025	100	2	小平町、擁壁工
		比婦美沢	1087, 1088	60	1	小平町、擁壁工
		上大曲沢	2131, 2134	83	3	苫前町、溝渠工、擁壁工
	計	6 路線		321	10	

留萌南部森林管理署計						
開 設	基 幹	-	路線	-		
	その他	5	路線	6,590		
	計	5	路線	6,590		
改 良	基 幹	4	路線	407	16	
	その他	6	路線	321	10	
	計	10	路線	728	26	
森林計画区合計						
開 設	基 幹	-	路線	-		
	その他	12	路線	18,090		
	計	12	路線	18,090		
改 良	基 幹	4	路線	407	16	
	その他	11	路線	476	15	
	計	15	路線	883	31	

注) 災害復旧等緊急を要する改良については、指定箇所以外においても実行ができるものとする。

4 治山に関する事項

位置	区分	工種	計 画 量	備 考
留萌北部森林管理署				
2066林班	保全施設	山腹工	1 箇所	羽幌町
2142林班	保全施設	山腹工	1 箇所	〃
2001林班	保安林の整備	植栽工	1 ha	〃
1186林班	保安林の整備	植栽工	2 ha	遠別町
1187林班	保安林の整備	植栽工	4 ha	〃
1188林班	保安林の整備	植栽工	1 ha	〃
8林班	保安林の整備	本数調整伐	19 ha	天塩町
179林班	保安林の整備	本数調整伐	14 ha	〃
181林班	保安林の整備	本数調整伐	1 ha	〃
留萌北部森林管理署計	保全施設	溪間工	- 箇所	
		山腹工	2 箇所	
		計	2 箇所	
	保安林の整備	植栽工	8 ha	
		本数調整伐	34 ha	
		計	42 ha	
留萌南部森林管理署				
藤山上流 72～75林班	保全施設	溪間工	1 箇所	留萌市
タルマップ川 154, 157林班	保全施設	溪間工	1 箇所	〃
田島の沢 1013林班	保全施設	溪間工	1 箇所	小平町
上記念別川 1092, 1110林班	保全施設	溪間工	2 箇所	〃
アナトロマナイ沢 2085林班	保全施設	溪間工	1 箇所	苫前町
2166林班沢 2166林班	保全施設	溪間工	1 箇所	〃
2201～2204林班	保安林の整備	植栽工	3 ha	〃
留萌南部森林管理署計	保全施設	溪間工	7 箇所	
		山腹工	- 箇所	
		計	7 箇所	
	保安林の整備	植栽工	3 ha	
		本数調整伐	- ha	
		計	3 ha	
森林計画区合計	保全施設	溪間工	7 箇所	
		山腹工	2 箇所	
		計	9 箇所	
	保安林の整備	植栽工	11 ha	
		本数調整伐	34 ha	
		計	45 ha	

5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

種類	名称	新設・既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	特徴等
林木遺伝資源保存林	留萌北部森林管理署				
	旭川カシワ7 林木遺伝資源保存林	既設	12.89	別表参照	北限のカシワ天然林であり、恒久的に保存を図り、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。
	旭川キハダ38 林木遺伝資源保存林	既設	14.30	別表参照	群生するキハダを保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。
	旭川ハリギリ・ベニイタヤ・ホオノキ33 林木遺伝資源保存林	既設	16.97	別表参照	群生するハリギリ、ベニイタヤ、ホオノキを保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。
	留萌南部森林管理署				
	旭川ミズナラ29 林木遺伝資源保存林	既設	8.69	別表参照	群生するミズナラを保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。
	旭川グイマツ30 林木遺伝資源保存林	既設	4.28	別表参照	群生するグイマツ人工林を保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。
	旭川ヤチダモ31 林木遺伝資源保存林	既設	5.00	別表参照	群生するヤチダモを保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。
	旭川トドマツ32 林木遺伝資源保存林	既設	6.05	別表参照	群生するトドマツを保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。
	森林計画区計		7箇所	68.18	
森林計画区合計		7箇所	68.18		

(2) 緑の回廊の名称及び区域

該当なし

6 レクリエーションの森の名称及び区域

種類	名 称	新設・既設	面積 (ha)	位 置 (林小班)	選 定 理 由	施業方	既存施設の概要	施設整備	備 考	
その他の森施設 (レクリエー)	留萌北部森林管理署									
	川口遺跡	既設	0.24	別表参照	擦文文化期、オホーツク文化期の竪穴住居群であり、周辺からも続縄文土器、擦文土器等が発掘されるなど、文化遺産としての価値が高く、学術研究の利用に供する。	—	遊歩道外(天塩町)			
	森林計画区計	1箇所	0.24							
	森林計画区合計	1箇所	0.24							

注1) 備考欄の「保健機能森林に該当する森林」とは、「森林の保健機能の増進に関する特別措置法」に基づき、施設の整備を森林の施業と一体的かつ計画的に推進する森林のことを指す。

注2) 施業方法 単=育成単層林へ導くための施業 複=育成複層林へ導くための施業
天=天然生林へ導くための施業

7 公益的機能維持増進協定の名称及び区域

該当なし

8 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

種類	名称	設定年	面積 (ha)	位置 (林小班)	備考	
遺伝子保存林	留萌北部森林管理署					
	トドマツ中羽幌 遺伝子保存林	昭和46年	6.11	2153 お	林木育種事業を計画的、能率的に実施するため現存する林木の優良遺伝子群を確保し、これを保存し、遺伝子補給源として活用する。	
	森林計画区計	1箇所	6.11			
検定林	留萌北部森林管理署					
	北旭8号地域差検定林	昭和63年	4.10	2014 か	精英樹選抜育種事業実施要領に基づき、一群の精英樹系統種苗が揃って良好な成長を示す地域(適応範囲)を判定し、種苗の配布区域を定める目的で設定された検定林。	
	森林計画区計	1箇所	4.10			
施業指標林	留萌北部森林管理署					
	ふるさとの 森林施業指標林	昭和25年	16.25	2014 い	森林機能の多面的活用を目途とした林分施業を行う中で、長期にわたり実験資料の収録、林分構造の推移を研究するとともに、森林施業の普及・定着及び啓蒙を図るため、研修・教育・憩いの場として活用を図る。	
	森林計画区計	1箇所	16.25			
試験地	留萌北部森林管理署					
	雄信内トドマツ 人工林収穫試験地	昭和38年	0.56	50 い	所属施業群の現行あるいは将来予想される施業方法によって施業した場合の成長量、収穫量及びその他の統計資料を収集するとともに林分構造の推移を解明する。	
	羽幌トドマツ 人工林収穫試験地	昭和39年	0.42	2129 い		
	天塩アカエゾマツ 人工林収穫試験地	平成11年	1.10	33 よ		
	森林計画区計	3箇所	2.08			
モデル林	留萌北部森林管理署					
	間伐推進路網整備 モデル林	平成13年	8.42	5	い	事業実施区域内の間伐の推進及び流域全体の作業路網の充実を目的とした森林作業道等の配置・規格の工夫、高性能林業機械の活用等により効率的な事業実施により低コスト化を期して設定する。
			7.83	5	は	
			11.88	5	ほ	
			7.40	5	ち	
			11.29	5	り	
			11.26	6	い	
			0.50	6	ろ	
			3.74	6	は	
			3.63	6	へ	
			0.80	6	ち	
			9.19	6	り	
			4.92	6	ぬ	
			15.60	6	る	
			4.68	6	た	
			5.48	6	お	
			3.14	21	は	
計		109.76				
水土保全モデル林	平成12年	16.25	2014	い	針葉樹後継稚幼樹群及び小径木に恵まれた林分構造の推移と施業指針の確立に資する。	
留萌南部森林管理署						
水土保全モデル林	平成12年	6.40	2076	い	針葉樹後継稚幼樹群及び小径木に恵まれた林分構造の推移と施業指針の確立に資する。	
森林計画区計	3箇所	132.41				
森林計画区合計	9箇所	160.95				

種類	名 称	設定年	設定延長 (m)	位 置 (林班)	備 考
溪 畔 エ 保 ク ト 全 林	留萌南部森林管理署				
	モデル溪畔林流域 (桜庭沢)	平成28年	4,500	80～83	上流域に位置する天然林から下流までの森林の連続性を確保することにより、よりきめ細やかな森林生態系ネットワークの形成に努めるため、検証を行いつつ取組を推進する森林である。
	森 林 計 画 区 計	1箇所	4,500		

注) 設定延長はモデル河川の流路の延長である。

(2) フィールドの提供

対 象 地 (林 小 班)	設 定 の 目 的	備 考
留萌北部森林管理署		
2014 こ、さ	遊々の森 (羽幌わんぱくの森)	協定面積6.23ha 羽幌町教育委員会
181 な	ふれあいの森 (てしお森遊ふれあいの森)	協定面積0.28ha てしお森遊会
留萌南部森林管理署		
97 わ	ふれあいの森 (チバベリふれあいの森)	協定面積0.28ha 新星マリン漁業協同組合女性部、 留萌ライオンズクラブ
2037 た	遊々の森 (森の楽校サンケベツ遊々の森)	協定面積18.84ha 苫前町教育委員会
森 林 計 画 区 合 計	4 箇所	面積 : 25.63 h a

(3) 森林共同施業団地

名称	対象地 (林小班)	面積 (h a)	連携した施業 の内容	備考
留萌北部森林管理署				
初山別地域森林整備 共同施業団地	民	道有林 96～97林班	施業の効率化、 集約化を目的とした 路網の整備、森林 整備に関する現地 検討会の実施及び 森林教室の開催	協定相手 留萌振興局、 初山別村、 遠別初山別 森林組合
		民有林 17、18、20林班		
	国	2251～2260、2264、2265、 2268、2270～2276林班		
森林計画区合計	民		1 箇所	
	国			
	計			